

大庄中だより

令和5年 11月 14日
尼崎市立大庄中学校
校長 徳山 壮一 No.12

『後悔先に立たず』とは・・・。

『すでに終わってしまったことを、後から悔やんでも手遅れ。時間は戻せず取り返しがつかない。』だから、『後から、〇〇しておけば良かったと、悔やむ気持ちにならないよう、事前に準備をなさい。あらかじめ注意をなさい。今、この瞬間を大切にナさい。』という教を説いた言葉です。

テストや部活動の試合などで一番大切にしなければならないことは、「今、皆さんの目の前にある この瞬間」です。授業を受けている「今、この瞬間」。部活動の練習での「今、この瞬間」。この瞬間の積み重ねがテストや部活動の結果につながります。あたりまえのことですが過ぎた時間を取り戻すことはできません。『今』という時間は一瞬で通り過ぎ、過去のものとなります。人には弱い部分がありますから、「明日がんばればいいわ」と考えがちです。でも、その考えは、目の前のことからただ逃げているだけなのです。自分の弱い心に打ち克って、後悔することがないように『今、この瞬間に全力投球』しよう。

テストを10点UPする法！

- その1** テストが配られたら、まず落ち着いて名前を書く！
いきなり問題にとびつかず、ゆっくりと名前を書こう。
- その2** テスト問題を全部見通し、簡単な問題から！
時間配分を上手くできれば点数は大きく変わります。
1番から決めない。やりやすい問題から。
- その3** 白紙の部分をなくそう！
白紙だと絶対に点数にはなりません。
- その4** 問題文は必ず2回読もう！
ケアレスミス防止。何をどう答えればいいのかを理解できます。
- その5** できあがっても油断せず時間のある限り見直そう！
人間はミスをする動物です。見直して5点アップ。

チーム大庄の活躍

〇令和5年度尼崎市中学校新人大会

【サッカー部】優勝 祝 阪神大会出場

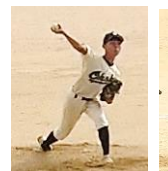
予選リーグ VS 立花 0-0
 VS 武庫東・大庄北 1-1
 VS 塚口 0-0
 決勝トーナメント 1回戦 VS 武庫東・大庄北 1-0
 準決勝 VS 小田 3-1
 決勝 VS 園田 2-1



〇令和5年度阪神中学校新人大会

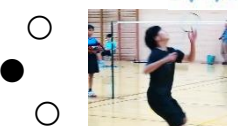
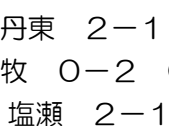
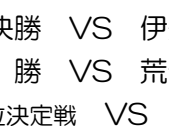
【野球部】準優勝

1回戦 VS 川西 8-1
 準決勝 VS 上ヶ原 5-1
 決勝 VS 関西学院 3-5



【男子バドミントン部】準優勝 祝 県大会出場

団体戦 1回戦 VS 山口 2-0
 準決勝 VS 伊丹東 2-1
 決勝 VS 荒牧 0-2
 2位決定戦 VS 塩瀬 2-1



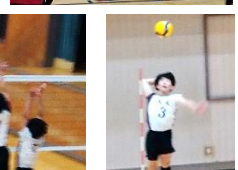
【女子バドミントン部】

団体戦 1回戦 VS カマリンBCJR 0-2



【男子バレーボール部】

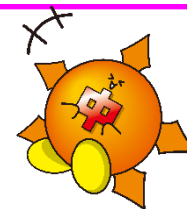
1回戦 VS 荒牧 0-2



今月の言葉

毎日少しずつ・・・

あせらず あわてず あきらめず



人が、何かを始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、つまり、目標を持った時、神様は、その人に「壺」を与えているといわれています。簡単にできる目標であれば小さな壺。テストで100点をとるとか、試合で優勝するとか、希望の高校に合格するとか、難しい目標であれば大きな壺が与えられます。目標によって、また、同じ目標であっても人によって、与えられる壺の大きさは違います。この神様から与えられた壺に「努力」という水を入れていくと、それが少しずつたまっていて、あふれる時が来ます。この「努力」の水があふれる瞬間が、できなかったことができるようになった時、つまり、目標が叶う時なんです。どんなに大きな壺であったとしても、毎日少しずつでも「努力」の水を入れていけば、いつか必ず壺から「努力」の水があふれる時が来ます。つまり目標が叶う時が来るのです。ただ、透明な壺であったり、壺の大きさがわかれば、あとどのくらい「努力」の水を入れれば、あふれる瞬間が来るのかがわかるので、努力を続けることのできる人が多いのですが、神様が、与えてくれる壺には、透明なものはありません、大きさがどのくらいなのかもわかりません。人には、神様が与えてくれる壺は見えないのです。だから、あとどのくらい「努力」の水を入れればあふれる瞬間が来るのか、目標が叶うのかわからないので、努力することをやめてしまう人が多いのです。あと一日努力すれば、あと少し努力すれば、できるようになっていたかもしれないのに、目標が叶っていたかもしれないのに、あきらめてしまう人が多いです。努力をすることって、とても大変だし、本当に辛くてしんどいです。努力をしても結果が出ない時は、なおさらです。でも壺にはこれまでの努力はたまっていきます。少しずつですが確実にたまっていきます。あきらめずに毎日少しずつでも壺に「努力」の水を入れていけば、いつか必ずあふれる時が来ます。目標が叶う時が来るのです。全校生徒の皆さんには、このことを信じて、毎日少しずつでもいいから、決してあきらめることなく努力を続けることのできる生徒であってほしいと願っています。



11月6日 朝礼 校長講話